

東北で RC コミュニティを作ること

日本には四十八都道府県がある。その内六県の県がある東北という地域は、雪深く寒いために、非常に貧しい風土として知られてきた。

長い日本の歴史の中で、東北は、搾取と収奪を中央から繰り返し受け続けてきた。そのために、そこで暮らす人々は内面化された抑圧として、自分たちの言葉は醜く、自分たちは中央に住む人たちと比べて、たいして価値がない存在であると思ってきた。

第二次世界大戦で、徴兵されたのも、東北の貧しい農家の若い男性がまず最初であり、その人たちのほとんどが戦争の最前線で戦わされた。また、女性も貧しい家族を支えるために、身売りという人身売買の制度が一番多かったのも東北だった。身売りとは、第二次世界大戦前の植民地化されていたフィリピンやインドネシアなどに、奴隷労働や性風俗で働いた女性たちのことをいう。今でも、日本で唯一の核のゴミ処理施設があるのも東北である。

そうした背景からほとんどの成人男性は、たばこやアルコールに依存させられているが、そのことも美味しい米がたくさん作れるからということで正当化させられている、私の父も兄もそうである。世界で有名な自殺の最多発生県も東北である¹。

というように、抑圧はすさまじいが、私にとっては非常に懐かしく愛すべき故郷である。東北の人々が繋がるのが、私自身の夢でもあり、このエリアを独立させたいと強く思っている。

そうした中、今回で五回目の東北のWSを2006年7月末に開催した。今回のWSは、六県全部から数人ずつが参加し、37人のR.Cerが集まった（ほとんどがRCの中で、なんらかのリーダーシップを取っている人たちだった）。その中には東北出身でありながら、他地域に住んでいる人や、以前東北に住んでいて東北を限りなく愛しているアライも含まれていた。

特に東北のR.Cは私にとって生まれたときからのやさしい家族との再会のような居心地のよい場である。東北は雪深く寒いので、地域的に分断されそれぞれ独特の文化を培って

¹ 日本での自殺者は年間3万人を超え、深刻な社会問題となっているが、中でも北東北3県の自殺率が全国でも最も高い。人口10万人に対する自殺率は、秋田県が44.6人で全国ワースト1、青森県が39.4人、岩手県が37.8と続き、いずれも全国平均の25.4人を遥かに上回っている。

きた。それゆえ多様な言葉や言い回しはその土地土地に生まれてきた。毎年 RC の WS のためみんなが集まると、その独特の言葉に、お互いの内面化された抑圧をまず笑いでディスチャージする。

数年前から私は東北をエリアにすることを考えてきたが、今回はあと二年後とか三年後には、という具体的な声が上がった。私自身はあと一年後と言ったが、それにはただちに賛同の声はなく、ゆっくりと考えていきたいという声が多数を締めた。もともと東北は、中央のスピード化した生活とは違って、自然の圧倒的な力と共存してきた歴史なので、必ず機が熟すときがくるよというところで落ち着いた。

東北の人々がさまざまな抑圧をどのように跳ね返してきたか、それは助け合い、分かち合うという人間の本質にのっつた力を駆使した歴史だった。私が幼い頃、母親がとなりの家に平気でコップいっぱいのお米を借りにいたり、また、隣の人がお風呂を私の家に借りに来るということはしょっちゅうだった。自分の家と、隣の家との境界線がなく、(それは心の上でも、具体的なものでも) 子どもはみんなに大事にされていた。とにかく貧しさや、自然の驚異の前に助け合わなければ生き延びられなかったもので、ものすごくあったかい。また、貧しい中で培われた食べ物を大切に作る知恵は、さまざまな工夫を生み、本当の豊かさとはなにかを教えてくれる。

私はますます一人一人のリーダーと繋がって、さらに R.C を広げて、東北がコミュニティーとして独立することを助けることにワクワクしている。

Building RC in Tohoku, Japan

プレゼントタイム 2006 年 10 月号 78 - 79 ページより

Yuho Asaka

安積 遊歩

この記事の英訳：エマ・パーカー

この文章の著作権はラショナルアイランド社にあります (原文 2006 年)。